

**2015 年の取組み**

前年に公益財団法人「麒麟福祉財団」に申請していた助成金を得ることができ、南相馬の現地で活動している団体を登録する必要があり、南相馬支援グループを結成した。役員を選出、規約制定も行った。南相馬支援グループは友の会の実行委員会と同じ位置づけであり、東日本復興支援委員会と両輪で活動をしていく。

**第 1 回東日本復興支援実行委員会 4 月 28 日****2015 年度の活動 協議**

1. 役員選出と昨年度引き継ぎ
2. 小金井なかよし市民まつり 3 年継続の最終年にあたる。
3. 農工大学園祭に代わる府中 NPO まつりは農学部学生に申し込みと協力を依頼した。
4. 南相馬支援グループ役員会に出席する連絡員を選出した。情報共有をしていくため。
5. 農学部学生横山氏から、南相馬の現状を、映像とともに報告があった。

**2015 年度委員会取組み実績**

1. 小金井かよし市民まつり 10 月 17・18 日参加
2. 府中つながりフェスタ (NPO ボランティア祭り) に参加。11 月 22 日 主に OBG 作品の販売。
3. バザーでは南相馬支援アピールと友の会の広報が不足していた。案内ちらしやパネルの工夫が必要。
4. バザー売上も含め、助成金の執行報告に備えて南相馬支援グループに会計を置き、友の会会計と別管理体制ができた。

※別途委員会より東日本復興支援実行委員会のバザー取組報告が作成され、友の会に記録保存あり。

**2015 年度の南相馬支援活動**

・2013 年にはじめて藍の苗を植えた、鹿島区の農家民宿から「藍染めサークル」が生まれ、その会員が講師をつとめ、藍染め体験を地域で提供している。藍染の取組は新たに自立研修所びんずの援助、および夏の生葉染は農高生が実施した仮設住宅でのワークショップ、津波被害が大きかった烏崎地区でも実施した。南相馬に藍の拡がりを感じる。「わらの馬」は、中央図書館で教育委員会共催の形で実施できた。年末には博物館でわら工芸の小物づくり講座を実施。わら工芸もかつて手に馴染んでいるものとして人気があり、しめ縄講座などわら仕事の復興の意欲もある。養蚕をしている浮舟の里の真綿づくりと合わせて、復帰を控えている小高の女性たちとの手仕事会が増えている。

**<南相馬での活動 2015>****第 1 回 4 月 24 日～25 日**

関係者訪問、活動計画の確認

**第 2 回 6 月 26 日～27 日**

綿作業と藍の縫い絞り学習会

および自立研修所びんずで藍の苗定植

**第 3 回 7 月 10 日～11 日**

中央図書館でわらの馬づくり講習会

民宿お日さまサロンでミニみごほうき講座

**第 4 回 8 月 8 日～10 日**

鹿島区の藍染めサークル「縫い絞り学習会」

仮設住宅で相農高と藍生葉染ワークショップ

自立研修所びんずで藍の生葉染の指導

**第 5 回 8 月 21 日～22 日**

<バスツアー>

未帰還地区の小高視察

仮設住宅で手づくり体験提供

烏崎地区で藍の生葉染

浮舟の里で「真綿のうちわ」「わらのミニみごほうき」づくりの

ワークショップ



第6回 11月18日～19日

綿作業（糸紡ぎ、紡いだ糸で小物づくり）  
自立研修所びーんずで藍乾燥葉による染体験  
浮船の里で真綿のマフラーづくり指導

第7回 12月12日～13日

鹿島区の藍染めサークル「縫い絞り学習会」  
市博物館でわら工芸によるお正月小物づくり  
体験教室  
鹿島区公民館でしめ縄講座



2015年度は、4月～翌3月の期間で、公益財団法人「麒麟福祉財団」から助成金が入ったが、次年度の助成金申請を10月に行い、また、社会福祉法人 中央共同募金会（通称赤い羽根）のボラサポ（東日本復興支援事業に対する助成事業）にも申請した。こちらは期間が2015年8月～2016年9月であり、審査に通れば活動年次の途中から助成金が支給されるとのこと。2016年1月に合格結果が届いた。通った時のことも考慮しつつ、支出経理に当たった。すなわちボラサポに報告提出する仕様で領収書のあて先名称は、麒麟財団にも通じる形だったので「南相馬支援グループ」として発行していただいた。申請書作成は内容も詳細に記述しなければならず、全国的な募金による原資を思う。毎月の報告義務もあり、ただでは済まない。残念ながらボラサポ事業は今年度が最終年。麒麟福祉財団の2016年度助成金は授与に関しては、不合格の連絡があった。活動資金を得る努力が今後も求められる。

2016年5月26日